

ぼくのばあちゃん ありがとう

福島県 会津若松ザベリオ学園小学校二年 大関 宙

「ただいま。」

と、バスからおりてぼくがいうまえに

「おかえり。がっこうたのしかったか。」

と、まいにちまいにちいえのはたけからおおきなこえでさげんでくれるのが、ぼくのばあちゃんだ。

ばあちゃんは、はたけでやさいやはなをつくるのがだいすきだ。ばあちゃんをさがすときは、いえのなかよりも、はたけをさがしたほうがはやい。三つはたけがあるけど、どこかしらはたけにかならずいる。そして、ばあちゃんはぼうしをかぶって、てぶくろをはめて、ながづつをはいている。そのかっこうをしているばあちゃんをみるとあんしんする。

ばあちゃんは、ゆうがたになるとやさいをたくさんもってかえってくる。にこにこのえがおで、「いっぱいいたべな。」

と、いう。そして、たべきれないくらいやさいのおかずをつくってくれる。ぼくは、ときどきあきてしまう。でも、ばあちゃんがいつしゅうけんめいつくったやさいは、かぞくのみんなをげんきにしてくれるとおもう。いつもいつもありがとうとおもっている。ばあちゃんのやさいは、

げんきパワーのやさいだ。

ばあちゃんのげんきパワーのやさいのほかに、やるきまんまんパワーのでるものがある。それは、ぼくにゆうきをくれることばだ。

「そらは、だいじょうぶだ。」

と、いつてくれるんだ。そういわれるとぼくは、ようし、やるぞというきもちになる。スイミングのテストのときも、すいえたいかいのときも、スキーのたいかいのときも、まえのひのよるにかならず

「だいじょうぶだ。だいじょうぶだ。」

と、いつてくれる。どきどきしてきんちようしているぼくは、あんしんする。そして、ぼくが、しっぱいしたときや、できなかつたときでも、

「だいじょうぶだ。」

と、いつてくれる。ぼくは、なきたくなつていたのに、あんしんして、なきわらいがおになる。そしてこころのなかで、ばあちゃんありがとうといっている。ばあちゃんの、だいじょうぶだのことばは、まほうのことばだ。

ばあちゃん、げんきパワーのやさいをいつもありがとう。いつぱいたべておおきくなつたら、はたけをたがやすのをてつだうよ。ばあちゃん、やるきまんまんパワーのことばを、いつもありがとう。なんでもあきらめないでがんばるよ。だから、ぼくのために、かぞくのために、ながいきしてほしいんだ。ぼくは、ばあちゃんがいすきだ。いつもいつもおうえんしてくれてありがとう。